

建設マネジメントフォーラムの提供する研修

2006.2.28

(CIC) 建設マネジメントフォーラム

1. 研修の背景

公共事業縮小の中で、品確法の適用に伴う入札方式の変化、入札ボンド・履行ボンドの採用に伴う企業の格付け、完成工事成果品の電子納品の施行に伴う工事評価点の影響など、建設業界には制度の変革の波が押し寄せている。経営を維持するために、受注競争力を高め、最適な入札金額で落札するには、これらの制度に対応できる人材育成と確保が経営者に求められる。

2. 研修の目的と科目

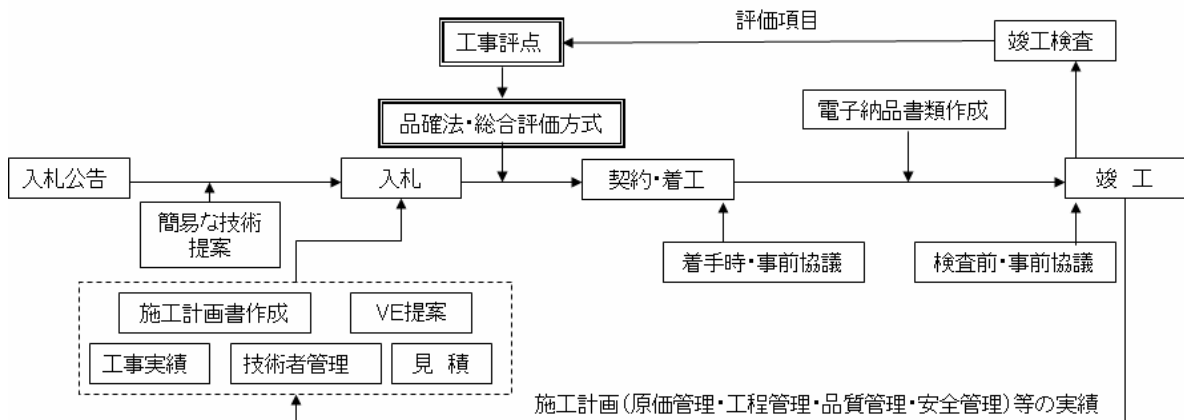
建設情報化協議会では、

- (1) 発注者品質保証を担保できる、信頼される施工会社になること
- (2) 工事の品質を高め工事評価点の向上に寄与し、受注競争力のある施工会社になること
- (3) コスト意識をもって代案を提示できる、技術力を備えた施工会社になること

の3つの企業像の実現を求める人材育成教育として、次の研修を提供する。

- 電子納品研修（業務効率、管理コスト、工事評価）
- 施工計画・VE研修（施工計画書、工事实績管理、代案）
- 品確法研修（経審、技術評価点）
- 企業コンプライアンス研修（建設関連法令、労務安全、環境、ITセキュリティ）

品確法・総合評価方式と関連事項



3. 研修の概要

I. 電子納品研修

1. 目的

(1) 正しい理解により、不平等な運用を強いられることを回避する

電子納品を正しく理解していないと、発注者から電子納品の不平等な運用を押しつけられたままになってしまう。特に、事前協議の場で、基準、ガイドラインを理解し、発注者との協議に正対できる能力を身につける。

(2) 書類の電子化から効率的な業務の遣方を見いだす力をつける

電子納品を見据えた、書類作成や書類の電子化を進めることで、これまで容易に踏み込めなかった効率的な業務への変換を実現するきっかけになる。電子納品のルール、全体像を理解した上で、電子入札に必要な書類への再利用、工事实績の電子ライブラリー化などを企画できる力を身につける。

(3) 電子納品成果品の自社作成によるコストダウンの実現

日常の業務と連携した電子納品書類作成の作業を行うことで、電子納品成果品作成を外注することなくコストダウンが実現する。ひいては、自社で作成できるか電子納品作成会社に外注するかで、入札における競争力に影響を与える見積り要素となる。

(4) 検査官による良い検査評点を得る

竣工検査において検査官とのスムーズな書類検査が行われないと検査評価点に影響する。求められた書類の検索、画面へ表示しての説明など、検査環境の準備、発注者側との操作手順の確認など、検査に失敗しない準備ができる力を身につける。

2. 研修コース

A よくわかる電子納品

B. 電子納品のためのITマスター

C. 簡単文書の作成

D. 電子納品CD-Rの作成と竣工検査の準備

コースの組み合わせ（例）

	コース	午前	午後
1-A	A よくわかる電子納品	■	
1-B	B.電子納品のためのITマスター		■

2-A	B.電子納品のためのITマスター	■	
2-B	C.簡単文書の作成		■

3-A	A よくわかる電子納品	■	
3-B	D. 電子納品CD-R の作成と竣工検査の準備		■

【電子納品研修コース】

研修科目	目的	研修対象者	研修内容	時間
A.よくわかる電子納品	神奈川県土整備部発注工事の電子納品を理解する	現場 店社情 報関係リ ーダ	1.電子納品運用ガイドライン・土木工事編(H18.2版神奈川県土整備部)の解説、 国交省・工事完成図書の電子納品要領(案)を参照しながら ・事前準備 ・着工時事前協議 ・電子納品実施体制 ・検査前協議 ・電子納品媒体作成 を解説する。 2.電子納品の問題点となる事例を元に、注意点と対策について学習する。 ・事前協議の注意点 ・パソコン取り扱いの注意点 ・成果品作成を外注する時の注意点 ・パソコンを使って竣工検査を行う時の注意点	2.0hr
B 電子納品のためのITマスター	電子納品に必要なITスキルを	現場	1.デジタル写真 デジカメの選択、撮影方法の注意、データ保	2.0hr

	実習しながら修得		<p>存、電子アルバム作成、電子納品の準備</p> <p>2.スキャナによるイメージデータの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙図面、カタログ等の印刷物をスキャナリーダープロ文書に挿入したり、豆図に編集し工事写真アルバムに挿入する <p>3.PCの操作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語入力に慣れ、辞書を活用して入力を省力化する ・エクスプローラによるファイル操作で簡単にファイルを見つける ・圧縮、解凍操作の方法を学習する <p>4.ウィルスチェックを実際に行う</p>	
C 简单文書の作成	電子納品に必要な文書の作成方法を実習する。	現場	<p>1.帳票作成</p> <p>WORD,EXCEL を使った定型文書の作成を実習する。</p> <p>2.施工計画書の作成技術</p> <p>図形、画像、表、文書を組み合わせた施工計画書を作成する手順、操作技術、文書構成、体裁の設定を実習する。</p> <p>3.スキャナによるイメージデータの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙図面、カタログ等の印刷物をスキャナリーダープロ文書に挿入したり、豆図に編集し工事写真アルバムに挿入する ・紙の文書をスキャナし、文字読み取りソフトでワープロや EXCEL のデータに利用する 	2hr
D 電子納品CD-R の作成と竣工検査の準備	電子納品の代表的ソフトを利用して、電子納品媒体を実際に作成する業務を体験する	現場	<p>電子納品運用ガイドライン・土木工事編(H18.2 版神奈川県土整備部)に基づいて、電子納品成果品の作成手順を学習する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.サンプルデータをもとに納品データを作成 2.管理項目のデータ入力 3.フォルダー作成 4.ウィルスチェック 5.CD-R 作成、ラベル印刷 	2.5hr

II. 施工計画・VE 研修

1. 目的

(1) 品確法の適用における総合評価方式の内容を理解し、高い技術評価点を得られる施工計画を提案できる能力を身につける。

【施工計画・VE 研修コース】

研修科目	目的	研修対象者	研修内容	時間
A.よくわかる総合評価方式と、身に付く施工計画	総合評価方式における技術提案の審査に対応した技術検討、計画書作成力を身につける	現場	1.品確法の概要 2.総合評価方式の解説 3.積算基準の理解と施工手順の検討 4.施工方法の検討 施工方法の選択、施工手順と機械セット、過去の類似工事实績、施工環境の適用、品質、安全 5.工程計画の検討 3.VE 提案の採用事例 4VE提案のケーススタディ	4hr